

1. 仕 様

1. 1 仕様

単位:mm

項目	型式	NC1-35		NC1-45			NC1-60		
		(1)*	(2)*	(S)*	(1)*	(2)*	(S)*	(1)*	(2)*
加圧能力	(tf)	35		45			60		
能力発生位置(下死点上)		2.6		2.3	3.2		2.3	4	
ストローク長さ		70	120	50	80	120	55	90	140
無負荷連続 ストローク数 (spm)	固定 (1)	—	90	—	—	80	—	—	70
	可変 (2)	90~150	55~105	85~175	65~130	50~95	80~165	60~120	45~85
許容連続ストローク数 (基準ストローク数にて) (spm)	(3)	53 (120)	62 (90)	49 (135)	25 (100)	39 (80)	50 (120)	45 (90)	50 (70)
連続作業エネルギー (基準ストローク数にて) (kgf-m)	(4)	76 (120)	107 (90)	125 (135)	170 (100)	225 (80)	130 (120)	190 (90)	260 (70)
ダイハイト	(5)	200	250	250		270	270		300
スライド調節量		50		60			70		
供給空気圧	(kgf/cm ²)	5							
周囲温度	(°C)	5~40							
メインモータ	固定(kW×p)	5.5×4		5.5×4			5.5×4		
	可変(kW×p)								



備考 注 *印について

両手押ボタン式安全装置の場合は、*印箇所が“A”となります。

(例: NC1-60(2)-A)

両手押しボタン式安全装置と光装置を併用する場合は、*印箇所が“B”となります。

注(1): (2)型は固定が標準です。

注(2): (S)型と(1)型は可変が標準です。

(2)型にはオプションです。

注(3): 許容連続ストローク数は、基準ストローク数のときの値を示します。

(→A2-3ページ)

注(4): 可変仕様時の連続作業エネルギーを示します。

注(5): ダイハイトとは、スライド調節上、ストローク下におけるスライド下面からボルスタ上面までの距離をいいます。

1. 仕 様



単位 mm

NO1-80			NO1-110			NO1-150			NO1-200		
(S)	(1)	(2)	(S)	(1)	(2)	(S)	(1)	(2)	(S)	(1)	(2)
80			110			150			200		
3.2	5		3.2	5		4	6		4	6	
60	100	160	70	110	180	80	130	200	95	160	250
—	—	60	—	—	50	—	—	45	—	—	35
75~150	55~110	40~75	65~135	50~100	35~65	55~115	40~85	30~55	45~95	35~70	25~45
60 (110)	53 (80)	60 (60)	50 (95)	48 (70)	50 (50)	23 (90)	29 (65)	38 (45)	39 (70)	37 (50)	35 (35)
200 (110)	285 (80)	395 (60)	325 (95)	320 (70)	460 (50)	380 (90)	550 (65)	790 (45)	630 (70)	930 (50)	1310 (35)
300		320	320		350	350		400	410		450
80			90			100			110		
5											
5~40											
7.5×4		11×4		7.5×4		15×4		15×4			
						11×4					



備考

自動プレス扱いについて

(S)型と(1)型は原則として自動プレス（動力プレス機械構造規格第28条）扱いとします。

自動プレスは、スライド作動中はどの位置でも光設置が有効です。